

Ⅶ 令和4年度理工科系大学等への推薦入学等による進学状況調査結果について

公益社団法人 全国工業高等学校長協会 附属工業教育研究所

1 調査結果について

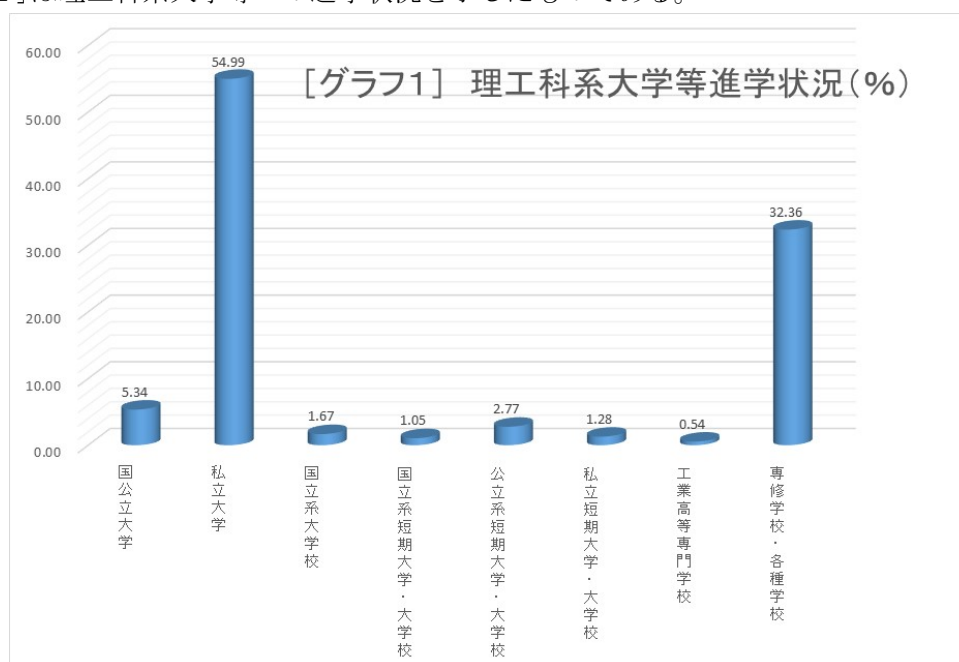
令和4年度は、工業系高等学校より理工科系国公立大学へ688人が進学（昨年731人）している。そのうち、国立大学進学者は53大学470人（昨年510人）、公立大学進学者は43大学218人（昨年221人）であり、昨年度と比較すると合格者は国立大学で40人、公立大学で3人減少した。一方、不合格者については昨年より15人減少し、363人（昨年度378人）となっている。なお、理工科系私立大学進学者は200以上の大学に7,078人となっている。

職業能力開発大学校（全国10地区に11校設置）、防衛大学校及び水産大学校への進学者は215人（昨年238人）となっており、また、工業系高等学校から4年次に編入することにより、卒業後4年制大学に編入可能である工業高等専門学校等への進学者は、70人（昨年72人）である。

さらに、私立大学附属短期大学部等の理工科系短期大学への進学者は165人（昨年180人）、全国に12校設置されている職業能力開発短期大学校には135人（昨年131人）、各都道府県立理工科系短期大学（校）等には356人（昨年389人）が進学している。

今回の調査を前回の調査と比較検討したところ、今年度も大きな変動はなかったが、会員校生徒数が減少する中、進学者数が12,872人と昨年の12,631人に比べ241人増加した。

[グラフ1]は理工科系大学等への進学状況を示したものである。



2 国公立大学について

例年、工業系高等学校卒業生の3割強が上級学校に進学しており、進学先である理工科系国公立大学等では、積極的に総合型選抜（AO入試）、学校推薦型選抜（推薦入試）等で、工業系高等学校卒業生を受け入れている。国公立大学の学校推薦型選抜等の入試形態には、専門学科枠、総合学科枠、県内枠、地域枠等があり多岐にわたっている。多くの工業系高校生が、さまざまな受験方法を活用して受験にチャレンジしていること、また、国立大学が地元の工業高等学校等と積極的に連携を取りながら活動していることもあり、国公立大学への進学が以前より有利になってきている。さらに、大学側が総合型選抜や専門学科卒業生選抜を積極的に設けるなど、フレキシブルな入試を実施していることにより、国公立大学を目指す生徒も増えてきている。

しかしながら、今回の調査でも国公立大学受験者のうち、不合格になった生徒はかなりの数にのぼり、報告のあった不合格者数は363人（昨年378人）と受験者の約34.5%を占めている（総受験者数は昨年度に比べ58名減）。国公立大学に挑戦する意欲ある生徒の合格者を増やすことは、工業高校のイメージアップにもつながると考えられることから、国公立大学の総合型選抜や専門学科卒業生選抜は増加傾向にあることも踏まえ、生徒には入学当初からの確な受験情報を知らせるとともに、学校現場での組織的な学力向上に向けた指導や工業系高等学校で学んできた知識や技術の成果、また、「課題研究」を通じた研究活動の成果をまとめあげ、プレゼンテーション力の育成等を図るなど、生徒への積極的なサポート体制により国公立大学進学への道を開くことが、受験者の増加と不合格者の減少につながっていくのではないかと考える。

3 私立大学等について

今回の調査では、進学者の55.0%が理工科系私立大学に進学しており、200以上の大学に7,078人（昨年6,879人）が進んでいる。理工科系私立大学では、積極的に工業系高等学校卒業生を受け入れており、金沢工業大学の422人を筆頭に、日本大学、愛知工業大学、日本工業大学等17大学にそれぞれ100人以上が進学している。

4 おわりに

令和3年度入学者選抜から、大学入試センター試験に変わり、大学入学共通テストが実施されるなど、最近の4年制大学の入試は多種多様となっているが、三本柱は一般選抜、総合型選抜、学校推薦型選抜といわれている。

〔表1〕は、平成12年度（AO入試実施開始年度）と令和4年度の大学入学者選抜実施状況を比較したものである。この表からは、AO入試の割合が平成12年度では国公立大学を合わせても1.4%であったが、令和4年度には総合型選抜の割合が13.5%に増加していることがわかる。

〔表1〕平成12年度と令和4年度の4年制大学入試状況の比較（文部科学省のHPより抜粋）

平成12年度		令和4年度	
AO入試	1.4%(8,117人)	総合型選抜	13.5%(84,908人)
推薦入試	31.7%(188,083人)	学校推薦型選抜	36.2%(227,457人)
一般入試	65.8%(389,851人)	一般選抜	49.0%(308,219人)
その他	1.1%(6,827人)	その他	1.3%(7,947人)
入学者計	592,878人	入学者計	628,531人

（注）その他は、専門学科卒業生選抜、社会人選抜、帰国生徒選抜、その他選抜など

〔表2〕令和4年度の大学入学者選抜実施状況（文部科学省のHPより抜粋）

国立大学		公立大学		私立大学	
総合型選抜	5.6%(5,439人)	総合型選抜	3.8%(1,294人)	総合型選抜	15.8%(78,175人)
学校推薦型選抜	11.7%(11,450人)	学校推薦型選抜	25.8%(8,823人)	学校推薦型選抜	41.7%(207,184人)
一般選抜	82.1%(80,242人)	一般選抜	69.8%(23,888人)	一般選抜	41.1%(204,089人)
その他	0.6%(576人)	その他	0.6%(204人)	その他	1.4%(7,167人)
入学者計	97,707人	入学者計	34,209人	入学者計	496,615人

（注）その他は、専門学科卒業生選抜、社会人選抜、帰国生徒選抜、その他選抜など

〔表2〕は、令和4年度の大学入学者選抜実施状況を、選抜毎に国立大学、公立大学、私立大学別にまとめたものである。それぞれの入学者については、国立大学では総合型選抜5.6%、学校推薦型選抜11.7%、一般選抜が82.1%、さらに公立大学では総合型選抜3.8%、学校推薦型選抜25.8%、一般選抜

が 69.8%となっており、国公立大学では一般選抜が主であること、また、私立大学においては定員の半数以上を総合型選抜と学校推薦型選抜により入学させていることがわかる。特に、今年度初めて東京大学に総合型選抜と公募推薦により2名が合格したことは特筆に値する。

今回の回答率は99.3%（昨年99.5%）であり、多くの会員校のご協力をいただいた。また、大学の入学者選抜制度の過渡期でもあり、会員校の担当者からは入力に関する質問や調査方法、内容に関してさまざまな問合せや情報をいただいたが、調査結果を通して、工業系高等学校からの進学に関する具体的な実情を把握することができた。

なお、〔表3〕は理工科系大学等への進学状況調査結果、〔表4〕は理工科系大学推薦別合格者数、〔表5〕は理工科系大学推薦入試不合格者数、〔表6〕は国公立大学合格者数である。

また、〔グラフ2〕から〔グラフ10〕は、理工科系大学等の合格者数の一部を校種別に示したものであり、〔グラフ11〕から〔グラフ13〕は、それぞれ都道府県別、ブロック別、高等学校別の国公立大学合格者数を示したものである。

今後も、この「理工科系大学等への推薦入学等による進学状況調査」を継続し、その結果や正確な情報を全国に発信していく予定であり、多くの学校から資料提供をお願いする。また、調査方法、調査時期等を含め、調査結果（データ）を有効活用できるように改善し、課題等の解決を目指して努力していく所存である。

〔表3〕 理工科系大学等への進学状況調査結果(令和5年3月卒業生)(単位:人)

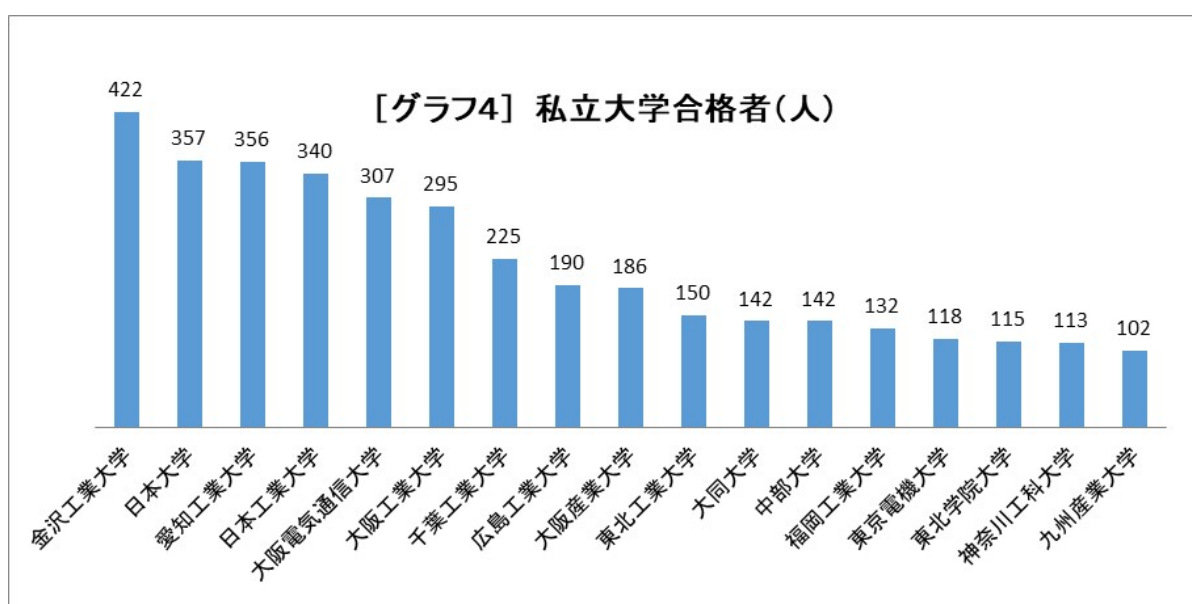
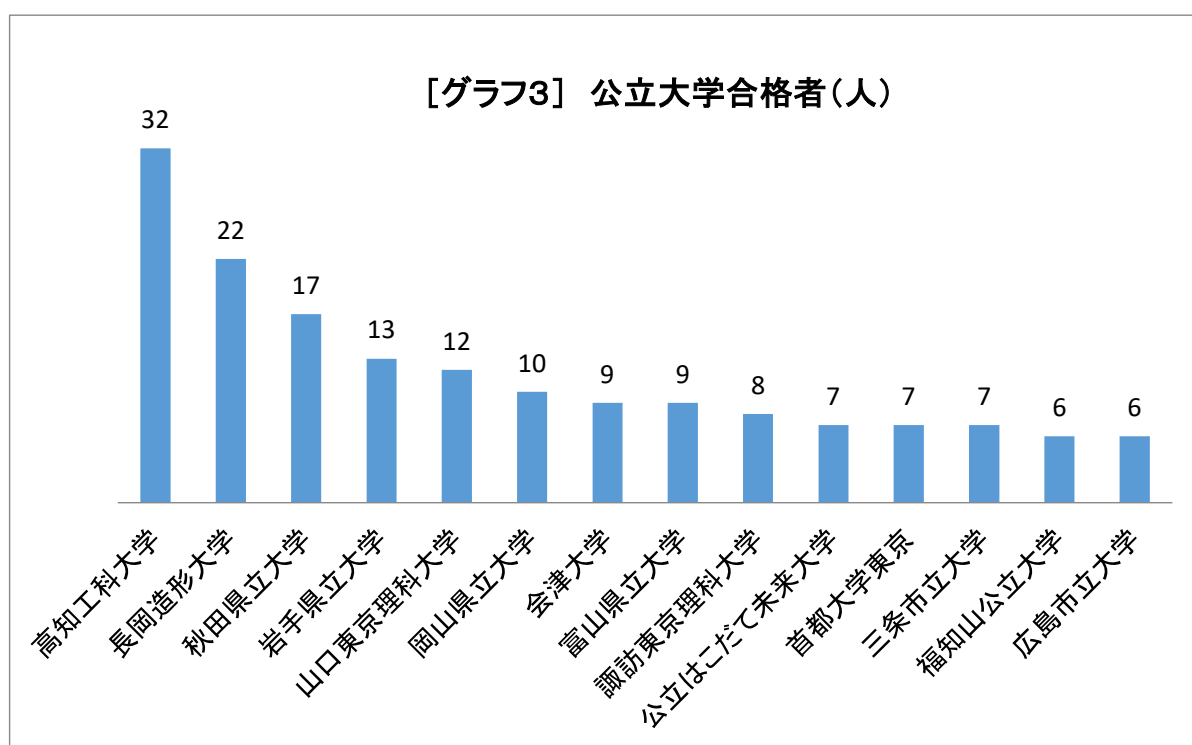
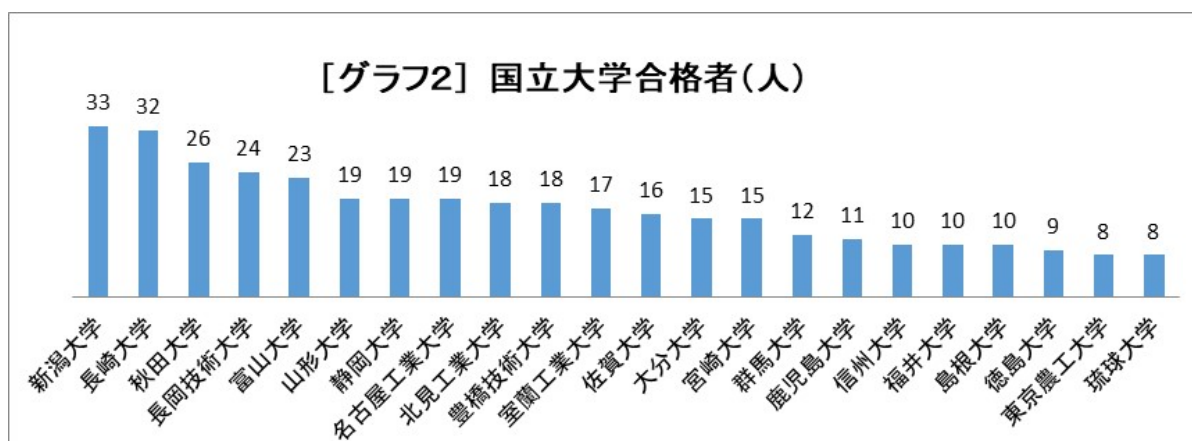
校 種	推薦・男	合格・男	推薦・女	合格・女	推薦・合計	推薦・合格
国立大学	626	401	88	69	714	470
公立大学	248	165	89	53	337	218
私立大学	6,852	6,384	728	694	7,580	7,078
国立系大学校	217	202	13	13	230	215
国立系短期大学校	138	130	5	5	143	135
公立系短期大学・大学校	359	326	34	30	393	356
私立短期大学・大学校	156	152	13	13	169	165
工業高等専門学校	89	62	10	8	99	70
専修学校・各種学校	3,776	3,720	445	445	4,221	4,165
合 計	12,461	11,542	1,425	1,330	13,886	12,872

〔表4〕 理工科系大学推薦別合格者数(人)

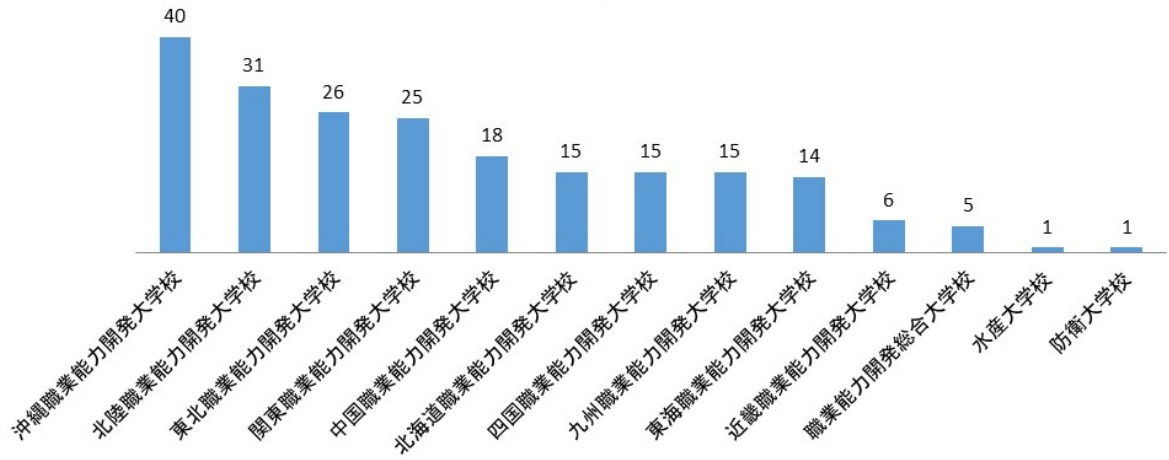
項目別推薦	国立大学	公立大学	私立大学	合 計
総合型選抜(AO入試)	195	70	1,122	1,387
指定校推薦	0	8	4,558	4,566
公募推薦	74	63	606	743
一般推薦	32	27	126	185
スポーツ推薦	0	0	182	182
専門学科枠推薦	166	39	238	443
地域枠推薦	0	6	10	16
その他	3	5	236	244
合 計	470	218	7,078	7,766

〔表5〕 理工科系大学推薦入試不合格者数(人)

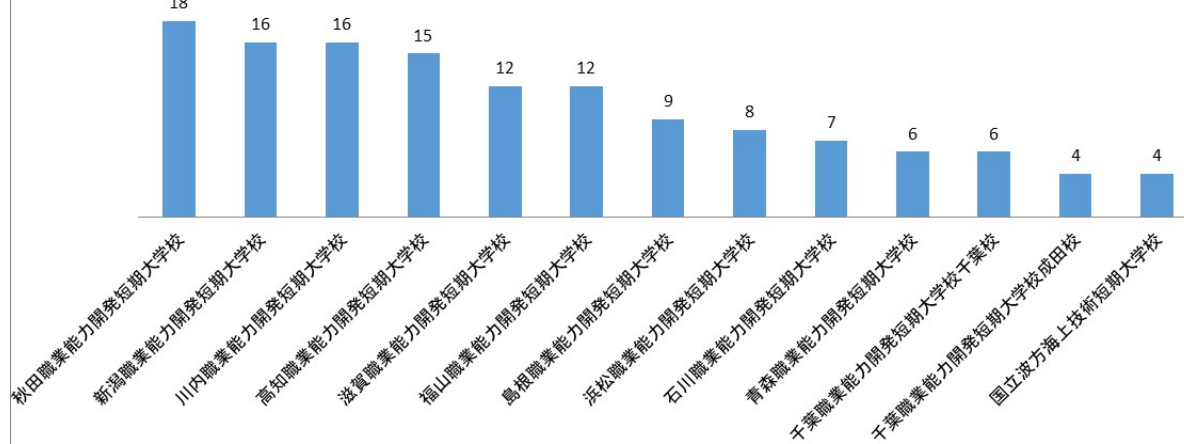
卒業年	国立大学	公立大学	私立大学	合計
令和2年3月卒業生	257人	175人	811人	1,243人
令和3年3月卒業生	230人	166人	687人	1,083人
令和4年3月卒業生	227人	151人	499人	877人
令和5年3月卒業生	244人	119人	502人	865人



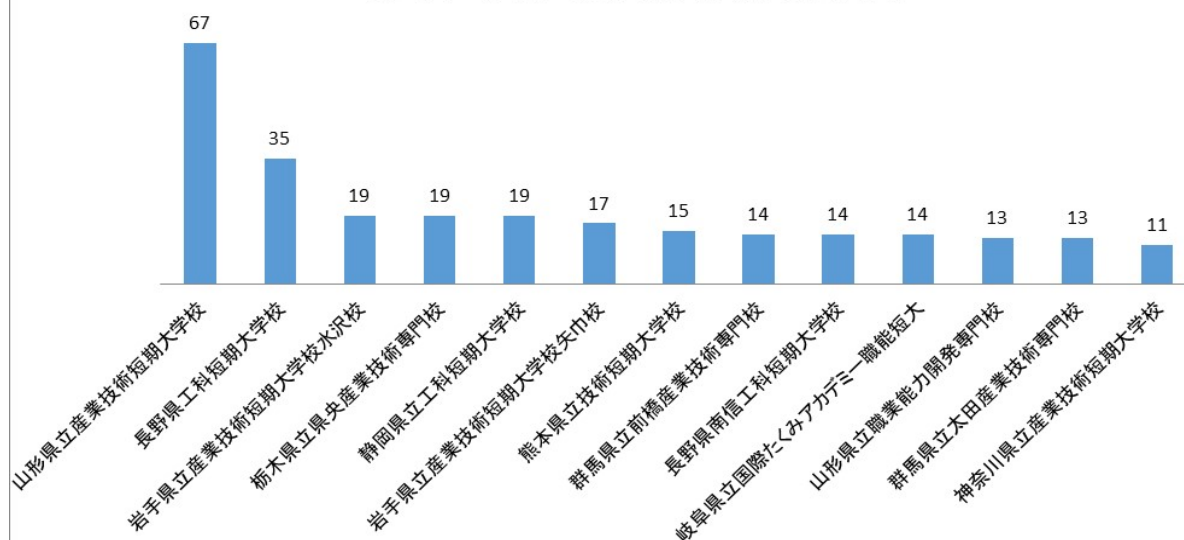
〔グラフ5〕 国立系大学校合格者(人)



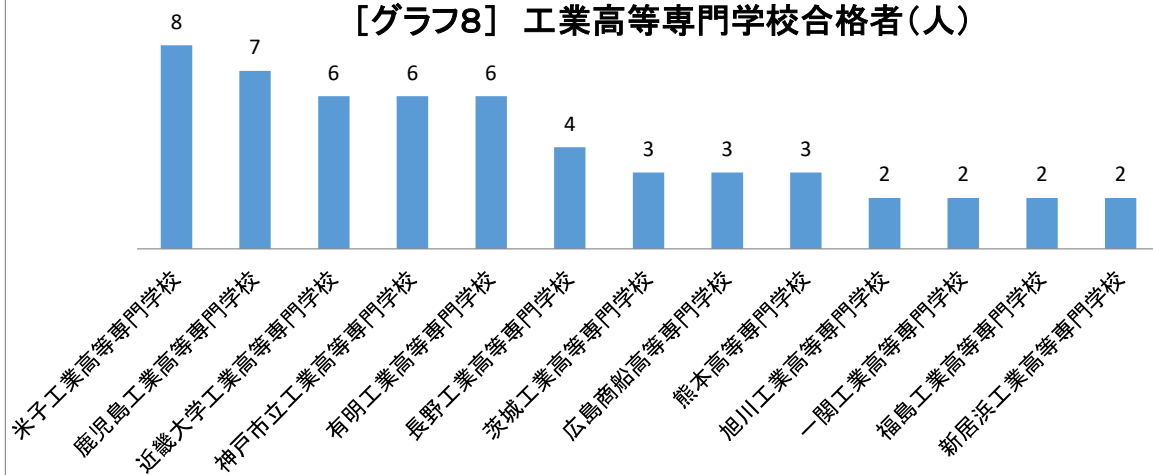
〔グラフ6〕 国立系短期大学校合格者(人)



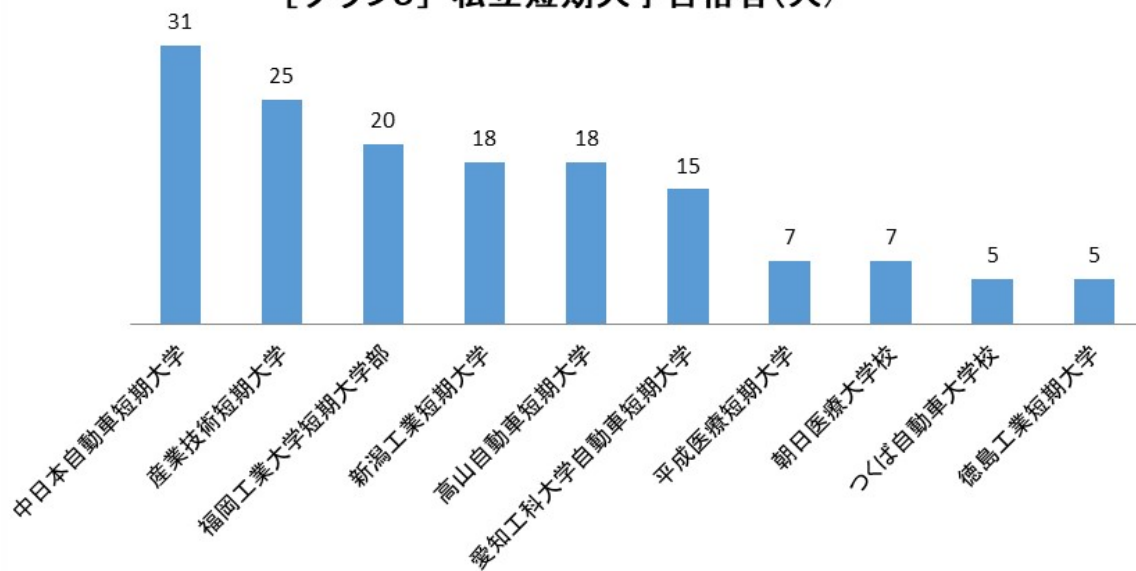
〔グラフ7〕 公立系短期大学校合格者(人)



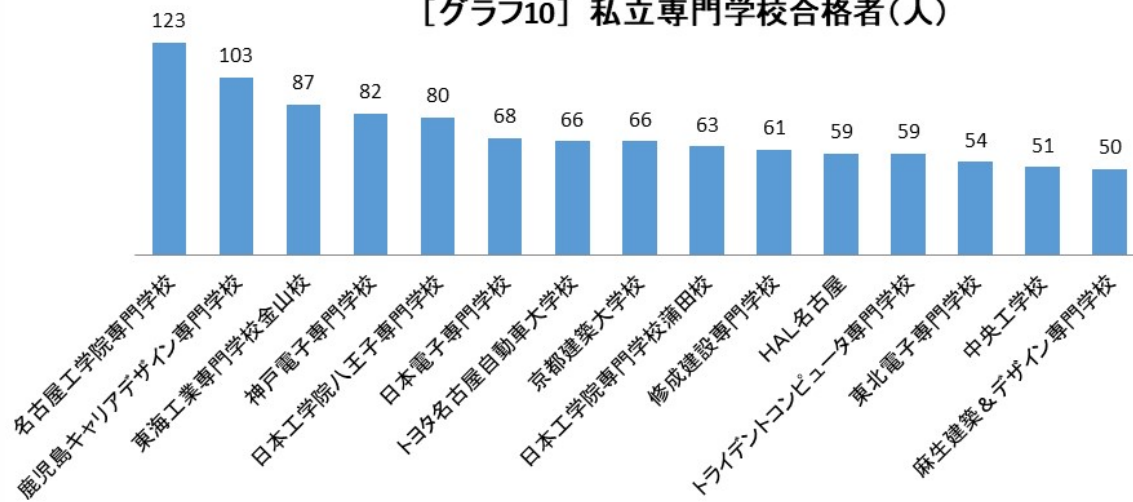
〔グラフ8〕 工業高等専門学校合格者(人)



〔グラフ9〕 私立短期大学合格者(人)



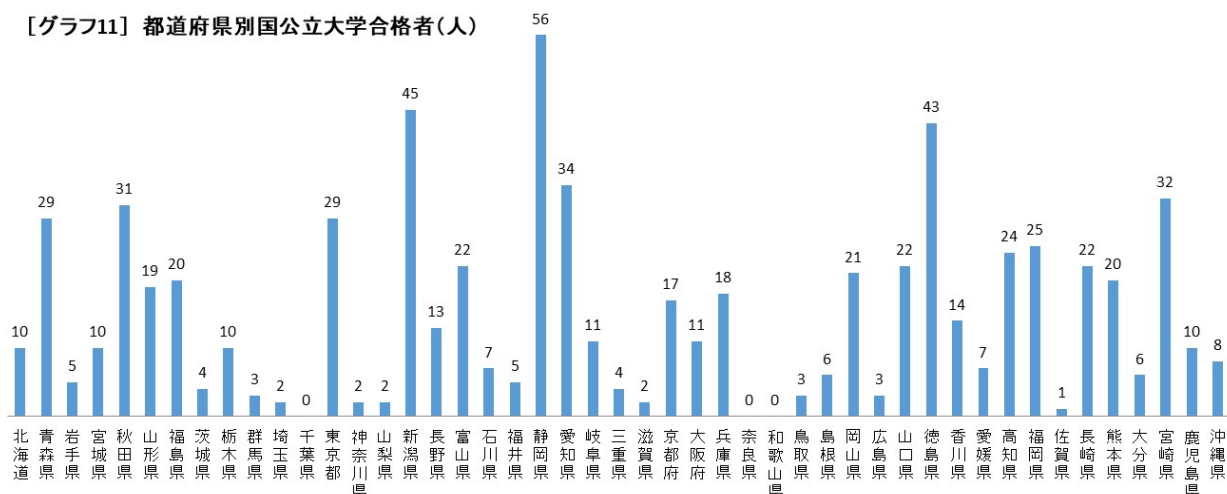
〔グラフ10〕 私立専門学校合格者(人)



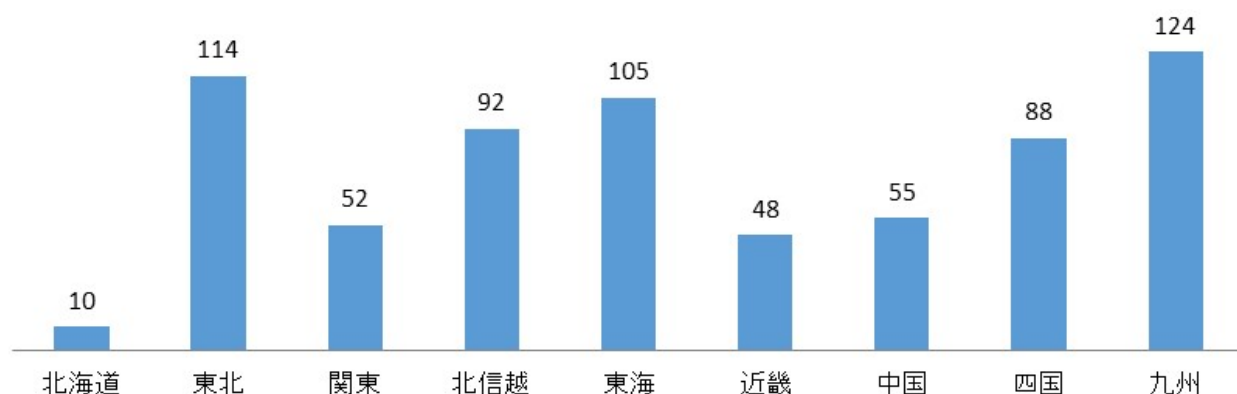
〔表6〕 令和4年度 国公立大学合格者数(人) 【令和5年3月調査】

番号	都道府県	国立大学	公立大学	合計	ブロック別計
1	北海道	5	5	10	10
2	青森県	18	11	29	114
3	岩手県	2	3	5	
4	宮城県	9	1	10	
5	秋田県	14	17	31	
6	山形県	15	4	19	
7	福島県	11	9	20	
8	茨城県	1	3	4	52
9	栃木県	9	1	10	
10	群馬県	3	0	3	
11	埼玉県	2	0	2	
12	千葉県	0	0	0	
13	東京都	20	9	29	
14	神奈川県	2	0	2	
15	山梨県	0	2	2	92
16	新潟県	37	8	45	
17	長野県	8	5	13	
18	富山県	13	9	22	
19	石川県	6	1	7	
20	福井県	4	1	5	
21	静岡県	43	13	56	105
22	愛知県	31	3	34	
23	岐阜県	10	1	11	
24	三重県	4	0	4	
25	滋賀県	2	0	2	
26	京都府	11	6	17	48
27	大阪府	8	3	11	
28	兵庫県	14	4	18	
29	奈良県	0	0	0	
30	和歌山県	0	0	0	
31	鳥取県	1	2	3	55
32	島根県	5	1	6	
33	岡山県	5	16	21	
34	広島県	1	2	3	
35	山口県	2	20	22	
36	徳島県	36	7	43	88
37	香川県	5	9	14	
38	愛媛県	4	3	7	
39	高知県	2	22	24	
40	福岡県	20	5	25	124
41	佐賀県	1	0	1	
42	長崎県	21	1	22	
43	熊本県	17	3	20	
44	大分県	5	1	6	
45	宮崎県	25	7	32	
46	鹿児島県	10	0	10	
47	沖縄県	8	0	8	
合 計		470	218	688	688

【グラフ11】 都道府県別国公立大学合格者(人)



【グラフ12】 ブロック別国公立大学合格者(人)



【グラフ13】 高等学校別国公立大学合格者(人)

